

市兵隊の旗
 ね踊り大為成
 君は小愈々や壯健
 心之為大悦多
 僕も亦不憂從軍
 百七他中即放念
 即者市照会有之
 旋略一当隊も愈々
 十日宿営必出
 五日銘山次より
 策車三下



日露戦争の力ケラ

～とある兵士へ、故郷からの手紙～

2025 伊豆市資料館 企画展

1/4 (土)

▶ 4/16 (水)



伊豆市資料館
IZU LOCAL HISTORY MUSEUM

〒410-2502 静岡県伊豆市上白岩425-1
TEL:0558-83-1859

休館日 木曜日 場所 特別展示室
 開館時間 9:00～16:00 (最終入館 15:45)
 入館料 大人210円 小中高生100円



日露戦争の力ケラ ～とある兵士へ、故郷からの手紙～

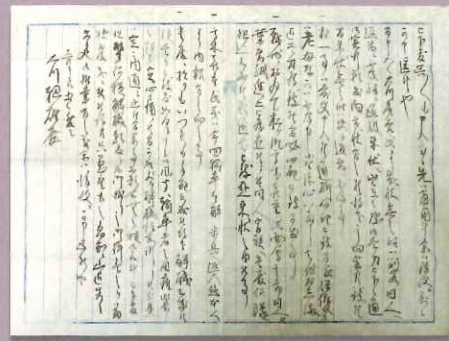
明治37年（1904）に起こった日露戦争は、近代日本にとって様々な影響をもたらしました。

本年令和7年は、その終結からちょうど120年を迎えます。

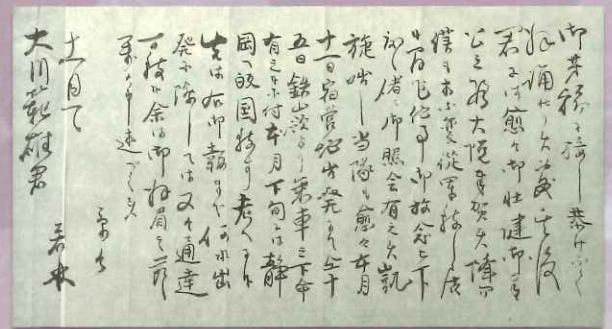
明治時代の日本では徴兵制度が設けられ、男子は兵役の義務を負い、ひとたび戦争が始まれば、戦地へ召集されることもあり、^{おもむ}現在の伊豆市の各村からも海を越えた戦地に赴いた人が多くいました。こうした、遠く離れた異国の地にいる兵士と故郷の家族たちの間を繋いだのが手紙です。「軍事郵便制度」のもと、日露戦争下では膨大な数の郵便物が戦地と日本の間を^{ほうだい}行き交いました。

本展覧会では、明治37年11月に満洲に出征した旧中狩野村出身の兵士のもとに送られた手紙類を中心に紹介します。

それらは故郷にいる家族や友人、また同郷の兵士たちから送られたもので、実際の戦争体験を綴ったものは多くはありません。しかし、遠く離れた戦地にいる家族の身を案じ、また、故郷で待つ妻子の様子を知らせるもので、とにかく無事でいてほしいという願いのこもった内容です。ここからは、現代の我々と変わらない、普遍的な人の「こころ」を感じ取ることができます。



軍事郵便
(明治37年12月25日付)



軍事郵便
(明治38年11月1日付)



満洲総司令部凱旋記念絵葉書



軍盃
(征露凱旋記念)



最新戦地里程図
(明治37年8月)



明治三十七八年戦役 第二回海軍記念日絵葉書



第一回日露戦役記念絵葉書
(九連城の戦利品)



第四回日露戦役記念絵葉書
(野戦郵便局)

伊豆市資料館常設展

常設展では、伊豆市の郷土に関する資料を展示しています。



人面把手
(上白岩遺跡出土)

土器の把手として付けられていたと考えられています。特殊な人面型をしているところから、祭祀に用いられた土器とも言われています。

大型有孔虫レビドサイクリナの化石を展示しています。この化石の発見により、伊豆半島が南の海からやってきたことが分かりました。また、他にも様々な化石を展示しています。



レビドサイクリナ



貝の化石

伊豆市資料館アクセス

自動車：国道136号修善寺横瀬交差点より伊東方面へ約10分
電車/バス：伊豆箱根鉄道「修善寺」駅よりバス約10分
(伊東方面「白岩」バス停下車)

